

評価の視点

評価項目	配点	評価の換算点 (加重倍率)	評価の視点
1 提案内容に関する視点(小計)	15		
業務目的の理解度・実施方針	5		当館が目指す建物総合管理の基本方針や、仕様書等に示された業務実施に当たって、業務目的や業務内容を十分に理解しており、各業務の実施方針が具体的で適切か。
業務実施体制	5 × 2		①日常、及び夜間・休館日における当館との連絡体制は適切か。 ②総括責任者等、当館窓口となる担当者は、各業務に対して十分な実績・技術力・マネジメント能力を有しているか。 ③各業務間が連携し一的な建物総合管理となるような管理体制につながる考え方や仕組は具体的で適切か。 ④本業務に関連する部門の組織、人員体制(応援体制や補充人員等を含む)は充実しているか。
2 業務品質の確保(小計)	35		
設備維持管理業務の履行	5 × 2		①巡回点検により不具合が発見できる体制か。 ②設備の不具合が発生した場合の対応に優れているか。 ③法定点検及び自主点検の実施方針、業務間連携に係る体制は具体的で適切か。 ④メーカー等との連携体制は適切か。 ⑤定期保守等の結果を維持管理へフィードバックする仕組や考え方は具体的で適切か。
清掃業務等の履行	5		①日常清掃、定期清掃について、感染症対策等、環境衛生管理は十分か。 ②突発的な汚れ等への対応が可能な体制か。
常駐警備業務の履行	5		①警備計画や巡回・監視体制は十分か。 ②不審者対応等、緊急時の対応に優れているか。 ③当館職員不在時(夜間、年末年始)に施設や設備等の不具合を確認した場合の対応手順や体制は適切か。
機械警備体制	5		①機械警備センサー、ITV、赤外線センサーが、当館の運営形態や来館者動線を考慮して設置されているか。 ②機械警備センサー、ITV、赤外線センサーの保守点検、メンテナンス体制は適切か。
情報管理	5		個人情報保護及び業務上必要な情報の共有体制が適切であるか。
業務品質の管理及び維持・向上策	5		①業務品質の管理手法及び自主検査の考え方や仕組は具体的で適切か。 ②業務品質を維持・向上させるための考え方や仕組は具体的で適切か。
3 防犯対策	5 × 2		①各種監視盤等により不審者侵入等の異常発生を発見した際の緊急対応に係る対応手順や体制は適切か。 ②有人、機械警備センサー、ITV、赤外線センサー等、当館にふさわしいハイブリッド警備体制が構築できているか。
4 防災対策	5 × 2		各種監視盤等により火災等の異常発生を発見した際の緊急対応に係る対応手順や体制は適切か。
5 追加提案	5 × 3		①提案者の持つ強みやノウハウを活かした新たな業務提案や経費削減にも繋がる業務提案があるか。 ②既存・既設の建築設備関連で、長寿命化対策として効果が期待できる、あるいは独自のノウハウを活かした提案があるか。
6 同種業務の実績	5		博物館法が定める博物館等の文化施設、またはこれに類似する施設等(国・地方自治体の公の施設も含む)において、建物総合管理業務の履行実績があるか。
7 提案価格	5 × 2		提案価格評価
合計	100		

配点 5:極めて優れている 4:優れている 3:標準 2:やや劣っている 1:劣っている